

アンドレアス・シュライヒャー

アンドレアス・シュライヒャー氏は OECD 事務総長教育政策特別顧問兼教育・スキル局長を務めており、スキルの開発と利用及びその社会経済的効果に関する OECD の調査研究の戦略的な統括も行っている。これには、生徒の学習到達度調査 (PISA)、国際成人力調査 (PIAAC)、OECD 国際教員指導環境調査 (TALIS) ならびに教育システムの成果に関する指標の開発や分析 (INES) が含まれる。OECD に参加する以前は国際教育到達度評価学会の分析部長を務めていた。ドイツで物理学を学び、オーストラリアで数学及び統計学の学位を受けている。「民主主義への模範的な取組」に対しドイツ連邦共和国初代大統領の名において授与される「テオドア・フス」賞をはじめ、数多くの受賞歴がある。ハイデルベルク大学の名誉教授の称号を得ている。